

令和2年度 山内図書館の目標

今年度、山内図書館は、以下の目標に重点的に取り組みます。なお、この目標は、「横浜市立図書館運営実行プラン」、各区の「読書活動推進目標」に基づいて、令和2年度当初に策定したものです。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言を受け、市立図書館は4月11日から臨時休館し、5月27日から一部サービスに限定して再開、イベントは当面中止とするなどの感染拡大防止策をとっています。

感染症の影響により、予定していた取組を中止や延期とする可能性があります。引き続き状況を踏まえながら取り組んでまいります。

1 誰もが利用しやすい図書館

【図書館のイメージアップと利用促進のための企画・イベント等実施】

〔取組〕

- (1) 年2回利用者フォーラムを開催し、図書館への要望や新事業へのアイデア等を区民から募り、企画実現へつなげます。
- (2) 平日夜の時間帯に帰宅途中に図書館へ立ち寄れるイベント「あざみ野ブックカフェ」を継続して開催します。平日夜間の開館のPRを行うとともに、毎回、バラエティに富むテーマを設定することで、来館促進を図ります。

【誰もが利用しやすい図書館サービスの充実】

〔取組〕

- (1) 子育て中の親が読書を楽しむための支援として、図書館内で乳幼児を預かる託児サービスを継続実施します。
- (2) 青葉区内図書取次施設との連携を密にし、円滑な取次サービスの運用を継続して行います。併せて、青葉区内3駅に設置している返却ポストの利用状況にも目を配り安定した運用に努めます。
- (3) 来館が難しい子育て世代やシニア世代に読書の楽しみを提供するため宅配サービスを継続して実施します。

【人材育成の推進】

〔取組〕

- (1) 山内図書館で独自に接遇研修やコンプライアンス研修、人権研修を行います。
- (2) 司書の専門性を高めるために、中央図書館をはじめ、県立図書館、神奈川県図書館協会の研修など外部研修に職員を積極的に参加させ、個々のスキルアップを図ります。

【地域と連携した読書活動の推進】

〔取組〕

- (1) 区役所と「読書活動推進事務局会議」を毎月開催し、青葉区における読書活動推進について話し合うとともに、講演会、パネル展示等の連携事業を実施します。
- (2) 市民ボランティアと協力し、乳幼児から大人までが楽しめるおはなし会を夏と秋に開催します。ボランティアの技術向上の場と、参加者が読書やおはなしに親しむ機会を提供します。

2 子どもの読書習慣の定着への支援

【子どもの読書習慣の定着への支援】

〔取組〕

- (1) 子どもが読書に親しみ読書習慣を身につける機会を提供するため、おはなし会をボランティアと協力して開催します。毎月行っている定例おはなし会以外に、夏のおはなし祭り（2日間）や多文化の理解を深める英語のおはなし会を開催します。
- (2) 地域の保育施設の子どもたち向けに児童コーナーのオープンスペースでおはなし会を開催します。

【家庭での読書活動の推進】

〔取組〕

- (1) 乳幼児の保護者と乳幼児に関わるボランティア向けに、わらべうたや絵本の読み聞かせについて、外部講師による講座を開催します（9月頃・3回連続講座）
- (2) 区の乳幼児健診（1歳半）の会場で、わらべうたの実演や絵本の読み聞かせを行います。併せて、図書館でのおはなし会や貸出サービスの利用案内をします。

【学校教育への協力、学校図書館充実のための支援】

〔取組〕

- (1) 「学校向けプログラム」を作成し、区内学校校長会や情報教育研究会などで、周知・説明を行い、各小中学校へ配布します。
- (2) 児童生徒向けサービスでは、図書館見学や職業体験の受け入れを行います。教職員や学校司書向けサービスでは、教職員の研修への講師派遣や教職員向け貸出、レファレンスサービスを行います。希望があれば訪問しての支援も行います。学校司書やボランティア向けに、本の修理や読み聞かせなどの講座を開催します。

【ティーンズ世代の読書活動の促進】

〔取組〕

- (1) 毎月、山内図書館のホームページ「TEENs のページ」にティーンズ向けのおすすめ本を掲載します。
- (2) 中学生の職業体験や高校生のインターンシップの際に、アンケートを実施し、ティーンズ世代の読書傾向を把握します。また、職業体験で来館した中学生におすすめ本のポップを作成してもらいます。

【地域での読書活動への支援】

〔取組〕

- (1) 読み聞かせボランティアに、定例おはなし会、月1回のやまちゃんおはなし会（来館保育園児向けおはなし会）等、活動の場を提供します。
- (2) やまちゃんおはなしのひろば（乳幼児健診でのおはなし会）を新たに立ち上げます。このおはなし会で活動するボランティアを育成するために、わらべうた講座を開催します。
- (3) 幅広い世代におはなし会の楽しさを伝えていきます。子どもから大人まで楽しめる「青葉おはなしフェスティバル」は、引き続き青葉区役所・山内地区センターと連携して開催に協力します。「大人のためのおはなし会」を年2回開催します。
- (4) 修理ボランティアの活動を支援します。修理ボランティアに、毎週活動の場を提供するとともに、活動日に修理の相談員を配置します。今年度10周年を迎える修理グループの周年事業に協力します。一般家庭の本を修理する「本の病院」を引き続き開催します。

3 蔵書とレファレンスの充実

【地域の情報拠点としての蔵書の充実】

〔取組〕

- (1) 昨年度、障害者の図書館利用促進のためLLブックなどを購入し障害者向けの本を集めた別置コーナー「りんごの棚」を設置しました。今年度はタイトル数を増やし、棚の充実に努めると同時に、周知にも力を入れていきます。
- (2) 2021年開催予定のオリンピック、パラリンピックにより、「世界」に目がむけられることが予想されます。最新の社会情勢に対応した資料を収集し書架の刷新を行います。区民の需要も多い海外文学なども収集し、展示などで紹介します。

【資料の管理・保存】

〔取組〕

- (1) 青葉区関連の郷土資料の収集に努めます。区役所からの情報収集も積極的に行い、取りこぼしのないよう収集します。映像や写真資料のデジタル化を進め、ホームページにアップロードしていきます。

- (2) 市民の課題解決に役立つ資料の収集、読書活動の契機となるような資料の選定を行います。また、適切な除籍を行い、書架の鮮度を保ち、魅力的な棚づくりを目指します。

【レファレンスの充実】

〔取組〕

- (1) レファレンス専用デスク「やまうちよろず相談処」を継続設置し、職員が常駐することで利用者からの相談に迅速に応じます。商用データベースを6種類導入し、新聞記事検索から法律情報まで、市民の調べものを支援します。
- (2) 市民の学習支援のため、大人向けに新聞データベースの調べ方講座、子ども向けには科学講座を開催します。

【資料の活用と情報発信】

〔取組〕

- (1) 毎月、青葉区の各広報紙（広報よこはま、タウンニュース）に情報提供して、広報活動を行います。青葉区広報ラジオにも隔月で出演し、図書館で行うイベントや図書館サービスの情報を発信します。また、地元のNPO法人『森ノオト』に親子向けイベントの情報を随時提供し、子育て世代の方へのアプローチも積極的に行います。
- (2) ホームページやSNSの速やかな情報更新に努め、地域の情報や図書館でのイベント情報を発信します。ホームページ、ブログ、facebook、Twitterはそれぞれの担当チームを作成し、発信数を増やしていきます。

4 山内図書館の独自目標

〔取組〕

- (1) 図書館を基盤に、仲間と楽しみながら地域に貢献する「大人の倶楽部活動」を起ち上げ、郷土資料の掘り起しや、館内外の整備を図っていきます。
- (2) 27のキーワードを使って読書のコツや楽しみを共有する読書支援ツール「Life with Reading」やビブリオバトルの普及に努めます。